

# VISUALIZE THE FUTURE



DMP Report Vol.1

株式会社デジタルメディアプロフェッショナル  
2012年3月期 中間報告書 2011.4.1~2011.9.30



# おかげさまで東証マザーズへ上場いたしました。 さらにグローバル企業への躍進を目指してまいります。

平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

おかげさまで、当社は2011年6月23日、東京証券取引所マザーズ市場へ上場いたしました。2002年7月の会社創業以来、組込みシステムのビジュアル・コンピューティング分野を事業の中核とし、グラフィックスIPの開発で世界のリーディングカンパニーを目指して邁進してまいりましたが、10期目にして株式上場を果たすことができました。これもひとえに株主の皆様のご支援・ご高配の賜物と深く感謝申し上げます。

株式上場を機に、「日本から世界への躍進」を実現したいと考えております。当社は主に国内市場

を中心にビジネス展開を続けてまいりましたが、今やその実績と技術力が海外においても高く評価され、グローバル展開を図る機が熟しております。そのためアメリカ、アジア、パシフィック圏における営業・開発拠点づくりに積極的に取り組んでまいります。

この次なる目標に向かって決意を新たに、上場企業としての社会的責任を自覚し、株主の皆様のご信頼にお応えべく社業の発展に向けてさらなる努力を続けてまいりますので、今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長兼CEO 山本 達夫



## DMPをご理解いただくためのQ&A

### Q DMPの主な事業内容は何でしょうか？

A 精緻な画像を描写するために必要なグラフィックスIPコア※を開発し、コンシューマ向け製品を作っているセットメーカーや半導体メーカーに向けてライセンス(使用許諾)を供与する「IPコアライセンス事業」が、当社の事業の中核です。

### Q グラフィックス技術とはどのようなものなのでしょうか？

A 画面上の物体に陰影をつけたり、周辺の風景を映り込ませたり、視点の移動に合わせて物体の見え方を変化させるなど、平面上の画像を3次的に見せる高度な画像技術です。物体の位置や色、角度などの情報を数値化し、プログラムで計算することにより、画像を生成し描画しています。

### Q 他社と比較したアドバンテージは？

A 独自に開発した機能拡張技術<MAESTRO>によって精緻な画像を超低消費電力と小さなコアサイズで実現していることです。バッテリー消費を抑えたい小型のモバイル機器においても、高性能のPCと遜色のない高度な画像の描画を低コストで可能にしています。

### Q どの分野で、どのような製品に使われていますか？

A 当社の最先端の3Dグラフィックス技術が搭載されたニンテンドー3DSをはじめとするゲーム機や、アミューズメント機器などリアルな画像表現が求められる製品に採用されています。またデジタルカメラやデジタル家電、オフィス機器、自動車や航空機、産業用機器など、高度な表示機能が搭載された製品にも採用されています。液晶画面を持つ製品であればすべて当社のビジネスフィールドです。

### Q 今後の方向性について聞かせてください。

A スマートフォンなどモバイル機器の市場はさらに拡大するでしょう。進化を続けるデジタル家電においても簡単に操作が行えるインターフェイスとしてグラフィックスの役割は重要性を増し、DMPのマーケットはますます広がるものと確信しています。技術面では、描画の質、レスポンス、省電力をさらに研ぎ澄ましていき、世界でトップクラスのクオリティーを持たなくてはならないと考えています。グラフィックスの技術の進化に対する投資は積極的に行っていきます。ビジネスとしてはグローバル展開を課題と捉え、アメリカ、アジア、パシフィック圏における営業および開発拠点を展開していくことに取り組んでいるところです。

DMP独自のテクノロジーが生んだ「グラフィックスIPコア」が、  
新たなコンテンツやアプリケーションの世界を切り拓く。

## アミューズメント

ゲーム・アミューズメントの分野では3Dグラフィックスの表現力が近年格段に高まってきています。



## カーエレクトロニクス

近年の急速な自動車のインテリジェント化によって、液晶ディスプレイの用途は急速に広がっています。



## オフィス

事務機器には、大型化したコントロールパネルが搭載され、グラフィカルでユーザフレンドリな操作性が重要になっています。



## DMPの強み

### ■ 高品質描画

極めて高い描画力に加え、シリコン面積当たり業界最高クラスの処理能力を誇ります。

### ■ 低消費電力

省電力設計により、長時間のバッテリー駆動が要求される携帯機器に最適です。

### ■ 低コスト

業界最小クラスのコアサイズで、システムのコスト削減に貢献します。



## 量産製品向けFPGA

半導体プロセス技術の大容量化と低価格化によって、量産製品にもFPGA※を搭載するようになってきています。

※FPGA  
製造後に設計者が構成を変更できる集積回路。



## モバイル

バッテリー駆動されるモバイル・コンピュータ機器のアプリケーションには様々なものがあり、その視野は広がるでしょう。



## ホームエレクトロニクス

家庭用電化製品におけるコンピューティング技術と情報通信技術の融合は多くの情報量の表示と操作性も同時に求められます。

### ※グラフィックスIPコア

LSIの中でグラフィックス機能を受け持つ回路要素を指します。(ハードウェア回路図のほか、駆動ソフトウェアも含む。)

## FINANCIAL REVIEW 業績の概要

Point

### 受注

コンシューマ製品の新規顧客向けに「SMAPH-H」をライセンスするとともに、**米国半導体メーカー**へ3DグラフィックスIPコア「SMAPH-S」をライセンスしました。

Point

### 売上

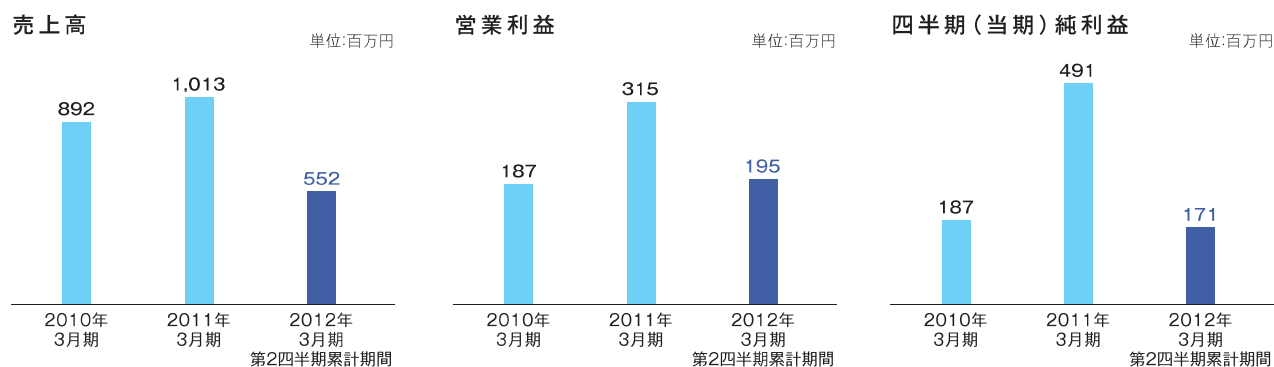
携帯ゲーム機に搭載された半導体メーカーからの「PICA200」のランニングロイヤリティ収入に加え、デジタルカメラの最新モデルに搭載された「PICA200Lite」のランニングロイヤリティ収入の計上が始まりました。

Point

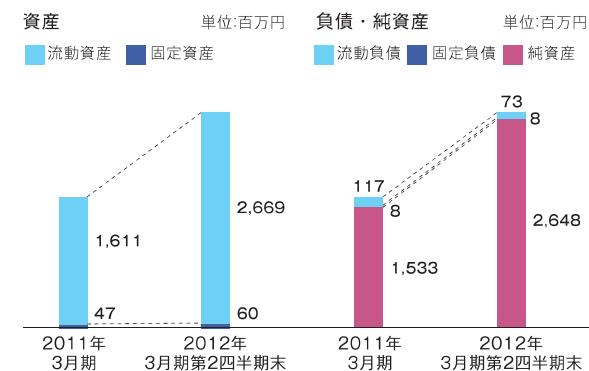
### 財政

2011年6月の公募増資および2011年7月の第三者割当増資により、**9億1千万円の資金調達**を行いました。調達資金は**研究開発、海外子会社設立等の成長投資へ充当**いたします。

### 売上高



### 貸借対照表の概要



### 2012年3月期通期業績予想



## CORPORATE DATA 会社情報

(2011年9月30日現在)

会社名 株式会社デジタルメディアプロフェッショナル  
 本社 〒180-0006 東京都武蔵野市中町1-15-5 三鷹高木ビル7F  
 設立 2002年7月10日

### 役員 の 状況

代表取締役社長兼CEO 山本 達夫  
 取締役CFO 古川 聖  
 取締役 岩田 茂人  
 取締役 大淵 栄作  
 取締役 岡本 伸一 (社外取締役)  
 常勤監査役 平野 雄士 (社外監査役)  
 監査役 犬飼 和之  
 監査役 山口 十思雄 (社外監査役)

### 事業内容

グラフィックスプロセッサの開発・販売  
 独自開発した3Dグラフィックス技術のライセンス供与  
 3Dグラフィックス関連ソフトウェアの開発支援および受託開発  
 3Dグラフィックスに関する技術コンサルティング

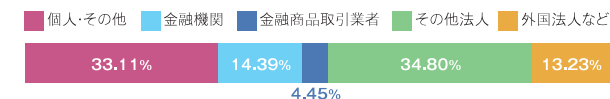
### 株式数および株主数

発行済株式の総数: 2,408,600株  
 株主数: 1,581名

### 大株主の状況 (上位5名)

氏名または名称	所有株式数(株)	所有株式数割合(%)
エイバックスグローバル・ビスジャパンファンドエルピー	152,900	6.34
池戸 恒雄	140,000	5.81
株式会社日本政策投資銀行	110,800	4.60
三井住友海上C2号投資事業有限責任組合	108,100	4.48
三菱UFJキャピタル株式会社	105,000	4.35

### 所有者別株式分布状況



### 株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで  
 定時株主総会 毎年6月  
 基準日 定時株主総会の議決権 3月31日  
 期末配当 3月31日  
 中間配当 9月30日

株主名簿管理人 東京都港区芝三丁目33番1号  
 中央三井信託銀行株式会社

郵送物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部

電話お問合せ先 電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル)

取次事務は中央三井信託銀行株式会社の全国各支店で行っております。  
 公告方法 電子公告により行います。(http://www.dmprof.com/)ただし、やむを得ない事由により、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。



株式会社デジタルメディアプロフェッショナル

〒180-0006 東京都武蔵野市中町1-15-5 三鷹高木ビル7F  
 TEL.0422-60-3480(代表) FAX.0422-60-3479